

2014年5月30日

Press Release

楽天リサーチ株式会社

1 ヶ月の通話代定額制サービスは不要と 6 割以上が回答
通話料金の 3 つの節約キーワードは
「プランの見直し」「利用量削減」「通話アプリの活用」
- 携帯電話料金に関する調査 -

URL: <http://research.rakuten.co.jp/report/20140530/>

楽天リサーチ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：森 学）は、携帯電話料金に関するインターネット調査を実施しました。今回の調査は、2014年5月19日から5月21日の3日間、楽天リサーチに登録しているモニター（約230万人）の中から、全国の10代～60代の男女1,200人を対象に行いました。

■□ 調査結果概要 □■

■約7割（65.9%）が1ヵ月の携帯電話料金が高いと回答

携帯電話会社に支払っている1ヵ月分の金額について聞いたところ、「やや高い」、「高すぎる」との回答が65%以上にのぼった。また、通話分の支払金額については、「やや高い」、「高すぎる」という回答が42.8%と半数近くだったのに対して、「やや安い」「安すぎる」という回答は5.8%と37ポイントの差があった。現状、携帯電話の通話代を高いと感じている人が多いことがわかった。

■定額制サービスは6割以上が不要と回答

通話料金が定額になるサービスについて、スマートフォンの利用者は月額2,700円、スマートフォンではない従来型の携帯電話の利用者は月額2,200円でかけ放題になるサービスの必要性を聞いたところ、「あまり必要ではない」（38.0%）、「まったく必要ではない」（22.8%）と約6割以上のユーザーが「必要ない」と回答した。定額制かけ放題プランについて、不要だと感じている人が多いことがわかった。

■定額制サービスの不要派、若年層は無料アプリを利用

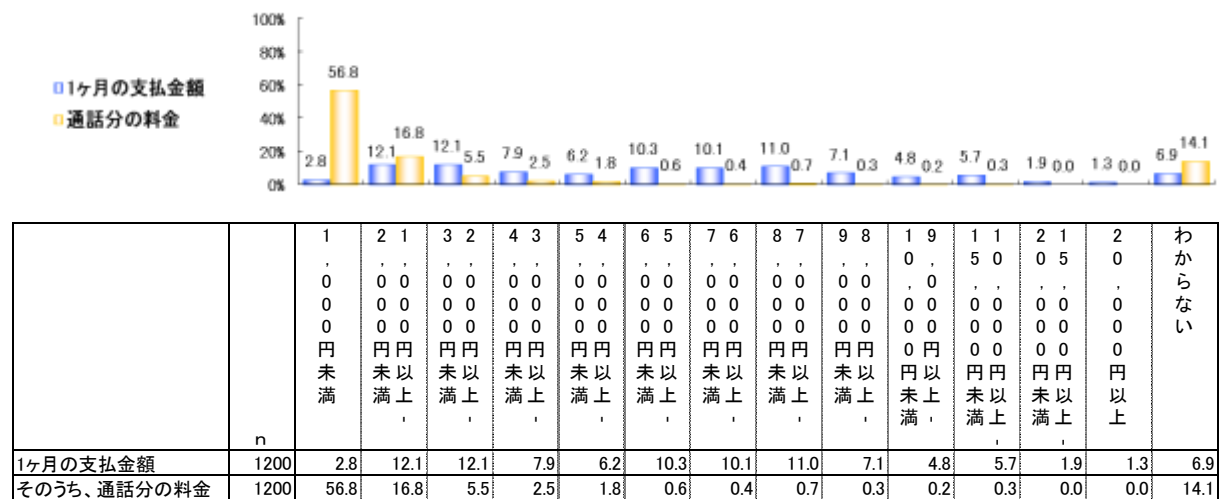
定額制の通話サービスを必要ないと回答した人に対して、年代別の理由を見たところ、若い世代（10代は47.3%、20代は38.2%）の多くは、無料通話サービスを利用しているため、定額制サービスを必要としていないことがわかった。

■□ 調査結果 □■

■1ヵ月の通話代、6割弱（56.8%）が1,000円未満、2,000円未満になると7割以上

携帯電話会社に支払っている1ヵ月の金額を聞いたところ、通話分の料金は、1,000円未満が56.8%と最も多く、次いで、1,000円以上から2,000円未満（16.8%）となった。また通話分の料金は、7割以上が2,000円未満と回答した。1ヵ月の全体の総額（基本料、通話料、通信料の合計）を見たところ、特出してシェアの大きい金額はなかった。

◇携帯電話会社に支払っている1ヶ月の金額について（n=1,200） 単位：%



■約7割（65.9%）が1ヵ月の携帯電話料金が高いと回答

携帯電話会社に支払っている1ヵ月分金額について聞いたところ、「やや高い」、「高すぎる」との回答が65%以上にのぼった。また、通話分の支払金額については、「やや高い」、「高すぎる」という回答が42.8%と半数近くだったのに対して、「やや安い」「安すぎる」という回答は5.8%と37ポイントの差があった。現状、携帯電話の通話代を高いと感じている人が多いことがわかった。

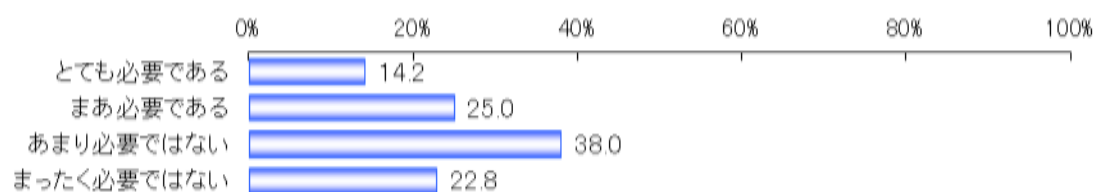
◇携帯電話会社に支払っている1ヶ月の金額について（n=1,200） 単位：%

	n	高 す ぎ る	や や 高 い	妥 当	や や 安 い	安 す ぎ る
1.全体の支払金額(1ヶ月)	1200	26.8	39.1	31.0	2.5	0.7
2.通話分の支払金額(1ヶ月)	1200	15.7	27.1	51.4	4.4	1.4

■定額制サービスは6割以上が不要と回答

通話料金が定額になるサービスについて、スマートフォンの利用者は月額2,700円、スマートフォンではない従来型の携帯電話の利用者は月額2,200円でかけ放題になるサービスの必要性を聞いたところ、「あまり必要ではない」(38.0%)、「まったく必要ではない」(22.8%)と約6割以上が「必要ない」と回答した。定額制かけ放題プランについて、不要だと感じている人が多いことがわかった。

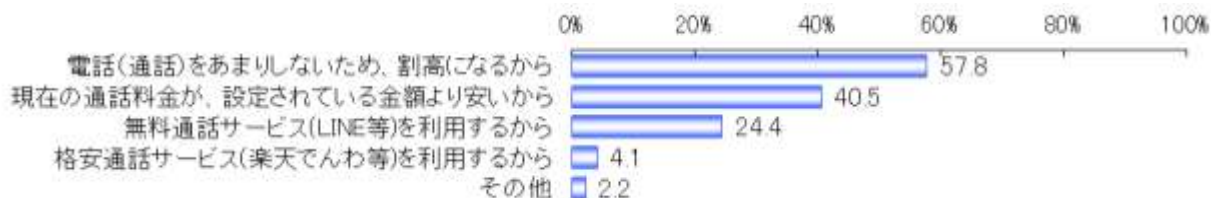
◇定額制サービスについて (n=1,200) 単位：%



■定額制の通話サービスを必要ないと回答した理由は、通話代が高くなるから

定額制の通話サービスを必要ないと回答した人に理由を聞いたところ、「電話（通話）をあまりしないため、割高になるから」という回答が57.8%と最も多く、「現在の通話料金が、設定されている金額（前問で質問した定額制料金）より安いから」が40.5%だった。多くの人は、スマートフォンの通話代が月額2,700円（スマートフォンではない従来型の携帯電話の通話代が月額2,200円）でかけ放題となるプランに料金的なメリットを感じていないことがわかった。

◇「あまり必要ではない」「まったく必要ではない」と回答した理由 (n=730) 単位：%



■定額制サービスの不要派、若年層は無料アプリを利用

定額制の通話サービスを必要ないと回答した人において、年代別の理由を見たところ、10代の47.3%、20代の38.2%が無料通話サービスを利用しているため、定額制サービスを必要としないという回答した。若い世代ほど無料通話サービスを利用していることがわかった。

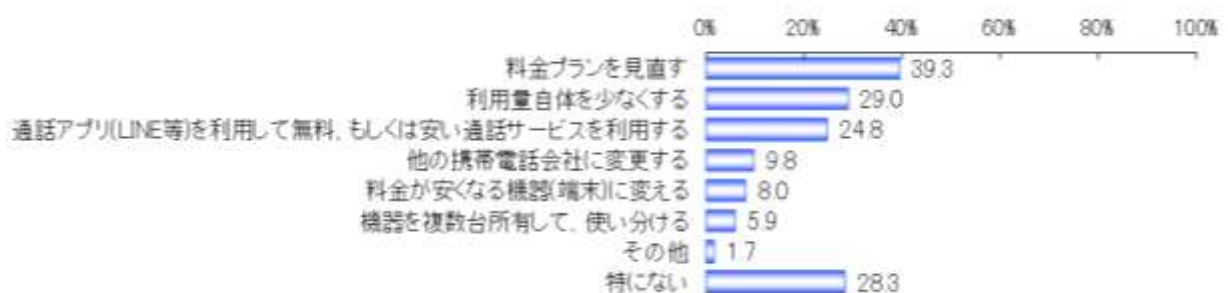
◇「あまり必要ではない」「まったく必要ではない」と回答した理由（n＝730） 単位：％

			その他				
		n	電話（通話）をあまりしないため、割高になるから	現在の通話料金が、設定されている金額より安いから	無料通話サービス（LINE等）を利用するから	格安通話サービス（楽天でんわ等）を利用するから	
年代	10代	110 100.0	50 45.5	32 29.1	52 47.3	3 2.7	3 2.7
	20代	131 100.0	75 57.3	59 45.0	50 38.2	10 7.6	0 0.0
	30代	115 100.0	67 58.3	51 44.3	24 20.9	5 4.3	2 1.7
	40代	146 100.0	96 65.8	60 41.1	19 13.0	6 4.1	5 3.4
	50代	114 100.0	65 57.0	47 41.2	20 17.5	5 4.4	3 2.6
	60代	114 100.0	69 60.5	47 41.2	13 11.4	1 0.9	3 2.6

■携帯電話の料金を減らす3つのキーワードは「プランの見直し」「利用量削減」「通話アプリの利用」

携帯電話料金を節約する取り組みを聞いたところ、「料金プランを見直す」が39.3%、「利用量自体を少なくする」が29.0%、「通話アプリケーションを利用して無料、もしくは安い通話サービスを利用する」が24.8%となった。

◇携帯電話の料金を減らすための取り組み（n＝1200） 単位：％



■若者は通話アプリを利用して、通話代を節約

携帯電話料金を節約する取組みについて、年代別で見たところ、10代（33.0%）、20代（38.0%）は、通話料金の節約に通話アプリケーションを利用する傾向が高いことがわかった。

◇携帯電話の料金を減らすための取り組み（年代別）（n＝1200） 単位：％

			料金プランを見直す	利用量自体を少なくする	通話アプリ（LINE等）を利用して無料、もしくは安い通話サービスを利用する	他の携帯電話会社に変更する	料金が安くなる機器（端末）に変える	機器を複数台所有して、使い分ける	その他	特にない
		n								
全体		1200 100.0	472 39.3	348 29.0	297 24.8	117 9.8	96 8.0	71 5.9	20 1.7	340 28.3
年代	10代	200 100.0	50 25.0	36 18.0	66 33.0	31 15.5	18 9.0	9 4.5	2 1.0	66 33.0
		20代	200 100.0	88 44.0	56 28.0	76 38.0	27 13.5	20 10.0	17 8.5	4 2.0
	30代		200 100.0	101 50.5	52 26.0	53 26.5	19 9.5	14 7.0	17 8.5	4 2.0
		40代	200 100.0	74 37.0	65 32.5	45 22.5	11 5.5	13 6.5	9 4.5	4 2.0
	50代		200 100.0	86 43.0	72 36.0	34 17.0	15 7.5	17 8.5	5 2.5	3 1.5
		60代	200 100.0	73 36.5	67 33.5	23 11.5	14 7.0	14 7.0	14 7.0	3 1.5

【調査概要】

調査エリア : 全国

調査対象者 : 15歳～69歳 男女

回収サンプル数 : 1,200サンプル

調査期間 : 2014年5月19日から5月21日

調査実施機関 : 楽天リサーチ株式会社

以 上